

新規・継続等	新規	分野	道路の落石対策等			事業番号	30	事業名	道路災害防除						
市町村名	上松町～木曾町		ふりがな箇所名	あげまつおんたけせん (一)上松御岳線			もちゅう 最中	はしど 橋渡	事業年度 (完了年度は見込み)	H23 年度～		H27 年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)		事業延長 L=1,165m W=5.0(6.0)m 法面对策工 12箇所					H22年度末事業進捗率		0%					
	H23年度以降降実施内容		同上					本工事費等ベース		0%					
	H23年度実施内容		法面对策工 4箇所					用地補償費ベース		0%					
	年度		全体事業費		H21年度まで		H22年度		H23年度		H23年度以降降				
財源内訳	事業費計(千円)		300,000		0		0		30,000		300,000				
	財源内訳	国庫支出金		165,000		0		0		16,500		165,000			
		その他													
		県債													
		一般財源		135,000		0		0		13,500		135,000			
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価				部	政策評価課					
									ランク	評点	ランク	評点			
	必要性 (25)	災害発生の恐れ		天候によらず高い		天候によっては高い		すぐには低い		A	10	A	10		
		発生時の通行車両への危険度		重大な落石・変状		中規模な落石・変状		小規模な落石・変状			10		10		
		防災点検上の評価(H8,H17,H19)		要対策箇所		カルテ対応箇所		その他			5		5		
		小計									25		25		
	重要性 (25)	交通量(台/12h)		4,000台以上		500～4,000台		500台未満		A	7	A	7		
		孤立集落等の発生		孤立あり		孤立なし					5		5		
		迂回路の確保		1時間以上又は不能		30分～1時間		30分未満			10		10		
		小計									22		22		
	効率性 (10)	コスト縮減の工夫		比較、検討実施		比較、検討なし				B	0	B	0		
		箇所選定の妥当性		優先度比較している		優先度比較していない					5		5		
		小計									5		5		
	緊急性 (25)	緊急輸送道路		第1次緊急輸送路		第2次緊急輸送路		指定なし		B	0	B	0		
		今の変状程度又は過去の災害履歴		重大な変状・落石		小規模な変状・落石		変状・落石なし			15		15		
対策工法の環境的配慮		十分に配慮した工法		一部に配慮した工法		配慮なし		3	3						
小計								18	18						
計画熟度 (15)	地域からの要望		住民要望強い		市町村要望強い		特になし		B	3	B	3			
	事業情報の共有		関係者以外に広く周知		関係者中心に周知		周知ない			3		3			
	地域住民の路線認識		危険箇所多い		危険なところもある		認識ない			5		5			
	小計									11		11			
評価の合計												A	81	A	81
事業周環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景		本路線は、(国)19号を経て赤沢自然休養林(森林浴発祥の地)へ向かう観光道路であり、地域住民の生活道路である。現道は、急峻な地形を通過しているため、斜面には転石や浮石が点在し、小規模落石が絶えず、また、大規模な落石も発生している。												
	地域からの要望経緯		H21.8月に地元から役場を通して木曾建設事務所長に道路防災対策の要望がある。												
	事業説明等の経緯		木曾町、上松町、地元(沿線住民・観光協会等)に工事概要、交通規制など随時説明していく。												
	環境・景観への配慮項目		観光道路であるため設計にあたり、構造物の景観や植生工の導入などに配慮していく。												
	他事業・プロジェクトとの関連		計画にあたり他機関(地方事務所林務課等)との調整を密にして連携を行い法面全体の安定を図る。												
	特記事項		特になし。												
地域の合意形成		全員賛成		概ね賛成		過半数賛成		動向不明		その他					
部意見	赤沢自然休養林への観光道路かつ住民の生活道路である。落石が頻発しており、斜面には転石や浮石が点在していることから、平成23年度に事業着手し、早急に防災対策を講じたい。					政策評価課見	必要性が高く、重要性も認められる。								